

第 52 回科学技術週間関連行事

第 44 回放射線科学研究会

ご 案 内

第一部 講演会 (13:30 - 17:15)

プログラム

1. 臨界実験装置を用いた加速器駆動未臨界システム実験と原子力人材育成 (50 分)

京都大学原子炉実験所 原子力基礎工学研究部門 教授 三澤 毅

京都大学原子炉実験所の臨界実験装置 (KUCA) は 1974 年より運転を開始した低出力原子炉で、主に原子炉物理の基礎実験を行うために利用されてきた。特に近年、新しい原子力システムとして提唱されている加速器駆動未臨界システムの基礎実験を世界に先駆けて開始した。また、35 年以上にわたり学部学生・大学院生向けの原子炉実験教育を行ってきており、国内外の原子力人材育成に大きく貢献してきた。

2. 放射線加工ゲルによる和紙の改質 (50 分)

(独)日本原子力研究開発機構 高崎量子応用研究所 産学連携推進部 吉井 文男

著者らは、放射線橋かけハイドロゲルによる湿潤環境で傷治療を行う創傷被覆材 (ビューゲル) を製品化し、その技術を更に発展させ、カルボキシメチルセルロースのようなセルロース誘導体が水とのペースト状照射でハイドロゲルになることを見出した。これを手漉き和紙に細かく分散させたところ困難とされていた吹き付けコーティングが可能になり、得られた製品の強度が著しく改善でき、機械漉き和紙の収縮性も抑制できことを実証し、製品化に繋げた。

3. 大阪府立大学附属獣医臨床センターにおける放射線治療について (50 分)

大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 獣医学専攻 教授 久保 喜平

近年、伴侶動物の飼育環境の向上に伴い、人と同様、高齢化に伴う疾患が増加している。これに伴い、腫瘍疾患の放射線治療に対する需要が高まりつつある。関西唯一の獣医系大学である大阪府立大学では、平成 21 年のりんくう地区移転を契機に、高エネルギー放射線治療を開始した。今後、獣医領域において、放射線治療を中心とする新たな高度診療技術の整備が一層求められる。

会員サロン (40 分)

PET 検査薬の供給について

日本メジフィジックス㈱ 神戸ラボ ラボ長 井上 善雄

PET 検査は、質の高い検査が可能である反面、使用する核種の半減期が短いため、長い間 PET 検査薬の院内製造が可能な施設でのみ検査が行われてきました。弊社では PET 検査の普及に向け、2005 年 8 月から PET 検査薬である FDG スキャン注の供給を開始しました。ここでは、FDG スキャン注の製造出荷並びに安定供給への取り組みについてご紹介します。

第二部 技術交流会 (17:30 - 19:00)

主 催	社団法人 大阪ニュークリアサイエンス協会
日 時	2011 年 4 月 22 日 (金) 13:30 ~ 19:00
会 場	住友クラブ (大阪市西区江戸堀)
参 加 費	企業 5,000 円、協会会員・大学・公設機関 1,000 円 放射線科学研究会会員・一般市民・学生 無料
交流会会費	3,500 円

FAX 送信票 (06-6282-3351)

(宛 先) 〒542-0081 大阪市中央区南船場3-3-27

社団法人 大阪ニュークリアサイエンス協会

TEL:06-6282-3350, FAX:06-6282-3351, E-mail: onsa-ofc@nifty.com

研究会参加申し込み票(締切日4月15日)

第44回放射線科学研究会 2011年4月22日(金) 13:30~19:00

お名前	ご 連 絡 先	研究会	交流会
		出 欠	出 欠
		出 欠	出 欠
		出 欠	出 欠

* 参加申し込みは、なるべく早い目にお申し込み下さい。

*お手数ですが、準備の都合上、懇親会(交流会欄)の出欠の何れかにも をお付け下さい。

なお、交流会ご出席のお申し込みを頂き、後日キャンセルされる場合は研究会の3日前までにお願いいたします。

研究会会場:住友クラブ

〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-13-10 Tel:06-6443-1986

地下鉄四つ橋線肥後橋駅下車，A出口よりすぐ

地下鉄御堂筋線淀屋橋駅下車，出口西へ徒歩7分

京阪電鉄淀屋橋駅下車 出口より西へ徒歩7分

京阪電鉄中之島線渡辺橋駅下車 出口から南へ7分

駐車場設備がありませんので、車でのご来館はご遠慮下さい。

